

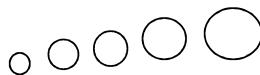
体育科のねらい

- (1)心と体を一体としてとらえ、適切な運動の経験と健康・安全についての理解を通して、運動に親しむ資質や能力を育てます。また、健康の保持増進と体力の向上を図り、楽しく明るい生活を営む態度を育てます。
- (2)高学年では各種の運動を工夫して行い、その運動に親しみ、その特性に応じた技能を身につけ、体の調子を整え、体力を高めます。また、協力したり安全に留意したりして自己の最善を尽くして

学習予定

学期	学習する単元の名称	主な学習内容
前期	マット運動	技術ポイントに気をつけながら、倒立などの練習をする。学習のまとめとして発表を行う。
	走り高跳び	3歩・5歩の助走で練習し、記録に挑戦する。
	新体力テスト	スポーツテストを行い、結果を記録して、自分の能力を高める。
	体力を高める運動	体ほぐしや新体力テストの結果から自己の体の特徴や状態に気づき、いろいろな運動に課題を持って取り組み、体力を高める。
	水泳	できる泳ぎで長く泳いだり、速く泳いだりする。いろいろな泳ぎ方の中から、めあてをもって、練習する。
	(保)たばこの害と健康 酒の害と健康 薬物乱用の害と健康	飲酒・喫煙・薬物の健康への影響について知る。 勧められたときの断り方について話し合う。
後期	運動会の練習・表現	運動会に備えて、参加する種目の練習をする。 友だちと協力して動きを合わせたり、見せ合ったりして、工夫して表現する。
	ハードル走	自分に合ったインターバルやリズムで練習したり競争したりし、速く走るためのポイントを考える。
	ソフトバレーボール	基本的なルールや技能を身につけ、工夫してゲームをする。
	とびばこ運動	いろいろな高さや向きのとび箱をとぶ。いろいろな技に挑戦する。
	バスケットボール	マナーやルールについて知り、パスやドリブルの練習をする。 チームで作戦を考えて練習し、工夫してゲームをする。
	サッカー	チームで作戦を考えて練習する。いろいろなチームと対戦し、作戦を工夫してゲームをする。
	なわとび	短なわや長なわを使って、続けてとぶ練習をする。 短なわや長なわでいろいろなとび方の練習をする。
(保)病気の予防	病気の発生の原因が生活行動と関連していることを知る。 健康によい生活や予防接種の必要性を理解し、実践する。 生活習慣が関係する病気やその原因を知り、予防法について考え自分の生活を見直す。	

評価の観点



授業への参加態度、身体表現力・走力・跳躍力などの技能習得状況、ルールの習得状況、授業後の感想などを参考に

体育科では、次の4つの観点で各学期領域ごとに評価します。

- ① 学習に関心をもち、進んで取り組もうとする。
- ② 運動・健康や安全について、課題の解決を目指して考え、工夫したり判断したりすることができる。
- ③ 運動の特性に応じた基本的な技能を身につけ、運動することができる。